

2021年度



教育長だより

生駒市教育委員会事務局
 生駒市東新町8番38号
 TEL: 0743-74-1111(代)
 文責: 原井葉子

☆ 3中学校がオンラインで交流学習

11月11・12日の2日間、生駒北中学校、光明中学校、生駒中学校の2年生が一斉に、「2030年へのインターンシップ」をテーマにしたキャリア教育の授業を実施しました。

中学2年生が社会人になる2030年は超高齢化や過疎化、年金問題など多くの社会課題が深刻化すると予測される中、子どもたちが未来を前向きに捉え、将来の夢や目標につながるような職業体験のプログラムを設定しました。数名のグループで会社を創り、受注を目指して企画を練り上げ、プレゼンテーションで競い合い、1社が受注を得るというビジネスの基本プロセスを体験するものです。日本マイクロソフト(株)等5つの企業・団体のご協力を得て、「AIを活用して身近な問題を解決するサービスを提案せよ!」「生駒市につくる未来の中学校を提案せよ!」など、各企業から出された5つのミッションそれぞれにチーム(会社)で企画立案、提案書作成、プレゼンテーションに取り組みました。協力



企業と3校をオンラインでつなぎ、1日目は企業のスタッフからのレクチャーやグループワークでプレゼンテーション資料を作成。2日目は、オンラインで3校それぞれのチームがプレゼンテーションを行い、企業が最も優れた提案をしたチームを審査、発表。



最後に、優勝した5チームの発表を全員で聞き合いました。学習の振り返りでは、「一つの目標に向かってみんなで考えたことは良い経験になった」「オンラインで他の学校の人と関わって、いろいろな意見を聞いて楽しかった」「今回協力いただいた会社に行ってみてみたい」などの感想が発表されました。

今回の取組をまとめた動画を配信していますので、ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/oE9rWhQC7iM>

☆ オータムフェスティバルを開催

11月20日、鹿ノ台小学校を会場に、生駒市子どもの本連絡会・図書館の共催で、「本いっぱい“どきどきわくわく”オータムフェスティバル」が開催されました。子どもの読書活動の推進に向けて実施しているイベント



で、今回も児童文学作家のキム・ファンさんを講師に迎え、人と生き物の共生をテーマに、絵本の読み聞かせや工作を通し

て、絶滅の危機にある生き物について、子どもたちに伝えてくださいました。「アオバズクのおうちさがし」の紙芝居では、人が巣箱を作ってしまうことで鳥の住処を作ることができることから、自分たちでできることを考えて行動することが大切だとのお話を、子どもたちは頷きながら熱心に聞いていました。

☆ オリンピアンにアーチェリーの手ほどき

11月20日・27日の2回にわたり、近畿大学総合グラウンド洋弓場で、「アーチェリー体験会」が実施されました。今夏の東京オリンピックで活躍された古川高晴選手、山内梓選手が市長を表敬訪問された折に「ぜひ、生駒市の子どもたちにアーチェリーの楽しさ知ってほしい」と提案されたことが、市と大学の包括連携協定により実現したものです。

当日は、両選手はじめ近畿大学洋弓部の選手の皆さんに、装具の付け方や弓矢の構え方など、丁寧に教えていただきながら、的の風船をパンッ!パンッ!と打ち抜いていました。



初めて体験する子がほとんどでしたが、一生懸命集中して取り組む姿に、付き添いの保護者の方から、「楽しそう!大人もやってみよう!」と声があがっていました。

このような体験を通して、子どもたちのスポーツ選手へのあこがれや将来の夢や目標が広がっていくことを願っています。